

- (1) 西日本石炭じん肺大牟田請求団総会
- (2) 総会から宴へ
- (3) 文化運動けん引役傘寿の祝い
- (4) 誰の為の公共交通行事予定

SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信 (No. 26)

第3陣定期総会・新たな仲間を迎えて



西日本石炭じん肺大牟田請求団

4月1日(日)
午前10時30分
分クランドホテル清風荘で開催された。
今年の目玉は、
昨年の三池炭鉱閉山20周年じん肺・アスベスト

ト救済自主検診などで新たに迎えた仲間の歓迎も兼ねていた。
開会の挨拶は、新しく請求団団長になられた杉本さんから頂いた。
弁護団の報告は、先ず西日本石炭じん肺弁護団長の岩城先生から頂戴し

た。三井石炭鉱業に限らず、九州の炭鉱でじん肺に罹患した方々の救済の見通しを語られた。
次に、築炉じん肺弁護団長の伊黒先生から、築炉じん肺第2陣訴訟の経過報告がされ、被告企業2社の内、1社大和工業の姿勢や今後の見通しについて報告された。
当日朝から集会をされていたという、九州建設アスベスト訴訟の遺族原告も駆け付けて頂いて、九州建設アスベスト第1陣、第2陣での勝利を誓う挨拶があった。
平川事務局長から、これまでの活動経過報告と、これからの活動計画、会計報告を丁寧に報告された。
続いて猿渡経理担当から監査報告がなされ、これまでの報告等に対する質問などは無く定期総会は無事に終了した。
第2部の食事と余興の前にほんの少しだけ、この1年間の活動報告をスライドで振り返るコーナーを設け、参加者らに見てもらいましたが、音声の都合が悪く、今後の課題となりました。
次ページへ続く...



- ### じかたび
- 現代の労働者は、
メーデーの意味を教えられず、権利意識も殆どなく、企業のいいようにこき使われ、自身の命を犠牲にする者もいる。こんな無権利意識の状態に誰がしたのか！この悪政を倒すのは、我々労働者であり、この国を豊かにするのも我々労働者。今こそ目覚める時ぞ！
- 「聞け万国の労働者」
1. 聞け万国の労働者
とどろきわたるメーデーの示威者に起る足どり
未来をつくる闘いの声
 2. 汝の部署を放棄せよ
汝の価値に目醒むべし
全一日の休業は
社会の虚偽をうつものぞ
 3. 永き搾取に悩みたる
無産の民よ決起せよ
今や廿四時間の
階級戦は来りたり
 4. 起て労働者奮い起て
奪い去られし生産を
正義の手もて取り返せ
彼らの力何物ぞ
 5. われらが歩武の先頭に
掲げられたる赤旗を
守れメーデー労働者
守れメーデー労働者

(1面の続き)

総会が終わると、日頃のうっ
ぷんを晴らすとさえ思える
宴です。

豪華な料理もさることな
がら、やっぱりここ一番盛
り上げてくれるのは、大牟
田請求団長の杉本さん。
「今回は小道具は用意して
いない」と聞いていたが、
背中のリュックにちゃんと
忍ばせていた。

平川執行委員長と前打ち
合わせして「紙吹雪を
用意しよう」と、広告紙
を切り刻み、紙吹雪をスタ
ンバイしていたら、何と杉
本団長自身のポケットから
紙吹雪が出るわ出るわ。参
りました。



大牟田支部の先輩後輩の



20数年ぶ

間柄と言うより、
りに再会した三池
炭鉱の「炭掘る仲
間」。

こちらはこちら
で、アスベスト健
康管理手帳取得の
お二人。業種は違
いますが、あつ、
同姓ッ！これで同
姓3名の「〇〇分
会結成？」。



親分を挟んで、分会の違
いを越えて共に楽しむ。

最後に、勤労者通信大学
を5名で受講し、全てが修
了した。支部総がかりの後
押しが、一人の脱落者も出
さなかった。この意味はと
ても大きく、これからの労
働運動の礎となり、労働運

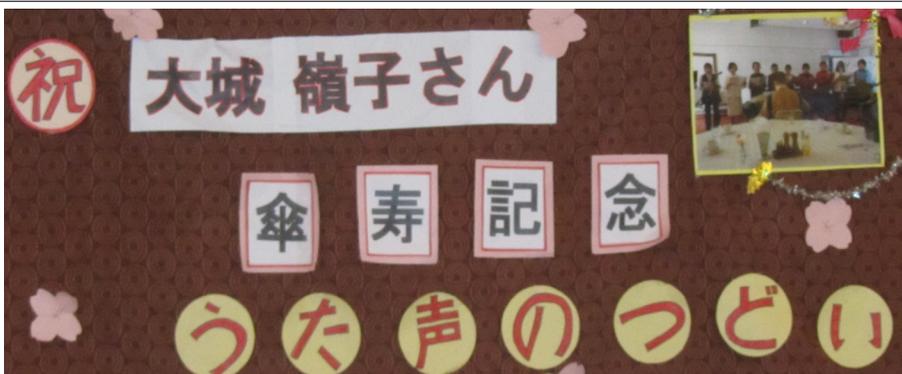
動の実践で、
その成果が
やがて自身
の血となり
肉となる。
今回は単
なる総会で
はなく、新
たな仲間の
歓迎と再会。
そして、

「一人はみんなのために、
みんなは一人の為に！」を
実証できた、中身の大変濃

い定期総会となりました。
弁護団の先生方、原告の方々
にも感謝です。(津波古)



4月14日(土) 11時から、建交労大牟田支部の大城嶺子さんの、「歌に月日を紡いで80年」歌ごえ運動に人生をかけた傘寿記念の集いが、だいふく4階の大ホールで開催された。当初、会場には傘寿にビンゴな来客が入り、開始時間と同時刻には、3桁に乗りそうな参



加者が集った。オープニングは、建交労の前身、全日自労の代表作とも言える「老いて輝く」から始まった。歌詞を見ながら、うたごえを聞きながら、嶺子さんの人生そのものを現した曲



のように会場全員で大合唱となった。そして、荒木栄うたう会が友情出演し、「心はいつも夜明けだ」を会場全てで合唱し、労働者作曲家荒木栄と共に歩んだ嶺子さんへ捧げられた気がした。この中には、三池炭鉱坑内で働かれていた方もいて、全日自労と三池労組が共に歩んできた道のりが歌に込められていた。

【第2部】
「みねこ と みさこの歌&トーク」では、これまでも嶺子さんと深い交流のあった大牟田出身の女優、中西美沙子さんが友情出演

し、嶺子さんとのトークセッションと嶺子さんのうた人生を、嶺子さんの名曲に乗せて披露された。そして、荒木栄の「花を贈ろう」と合わせて花束の贈呈と、建交労大牟田支部平川執行委員長からの激励のメッセージが読み上げられた。

我が人生を「うた声運動」に捧げてきた嶺子さんは「命ある限り歌わせて頂きたい」と、うた声運動に対する熱情を改めて表明された。

数ある嶺子さんの代表作の内、「宝の海よ」は、今まさに闘われている「諫早湾干拓有明海訴訟(ギロチン)」の裁判闘争を現している、今だからこそ歌い継がられなければならない曲を既に創作していた嶺子さんは、労働者作曲家荒木栄と同じ、未来を見据える洞察力の持ち主なのでしょう。荒木栄が最期となる時、自らが嶺子さんだったとの事。

ファイナーレは、全員合唱の「心はいつも夜明けだ」。この曲には、今を生きる若者への「生きる希望」を指した曲です。

嶺子さんは、全日自労大牟田合唱団を溢れる情熱と研ぎ澄まされた指導力で、うたごえ祭典へ導いた方でした。

実は、私が建交労に加盟してすぐ、幼き頃に見ていた大城嶺子さんに気付いたのです。「あのお、津波古と言いますけど」と声掛けすると「進君ね？」とお互い30年ぶりの再会だったのです。「これぞ一生青春」



一体誰の為の公共交通？

4月初め7時30分から大牟田駅前で建交労のピラ入りティッシュ配りをしました。JR側と西鉄側と二手に分かれ、自分は西鉄側でした。西鉄側はあっという間にテラシがなくなりJR側へ回りまわりましたが、以前と比べて人がかなり少ないことに気づきました。春休みということもあつたと思いますが、会社員には関係無く、自分が思ったことは、この春の2018年のJRダイヤ改正で117本の大幅純減便、これは2016年のJR北海道の79本見直し(気動車含む)よりも大幅な減便の結果だと思われ

ます。より不便さが増したため、天神への通勤、ショッピングにも便利な西鉄の方が好まれたためでしょう。2011年にも九州新幹線開通で、JRの特急がなくなったことで、

特急待ちのお客がいなくなり、駅前の立ち飲み居酒屋が無くなりました。新幹線のJR新大牟田駅は不便な所にあり、バスなどのアクセス、駐車場、出張者が宿泊するホテルも少なく利用者が少ないです。国鉄↓JR九州↓2016年末株式上場し、現在では高級旅客列車、博多駅ビルなど物販飲食業、ネット販売ギフト、不動産など利益を拡大し続けています。民間となったJRが利益を出すのは当然ですが、本年のような大幅なダイヤ減便は本業の地域の移動手段たる鉄道業をおろそかにし、本末転倒だと思えます。そして西鉄も大牟田市内その他地域のバス減便や廃路線など住民への配慮も無く、市は公共バスを無くさないために西鉄バスを利用しようとはいうものの、ここまで不便な便数、

行けない地域など来る年ごとに悪循環で使えたもので



はありませぬ。今年4月の広報誌で市は、高齢者は免許を返納しましょうと、「また」声高に言っているが、免許返納と交換に一定額のバス券やタクシー割引券など一時的なものをあげても、免許を持っていない人の通勤や免許返納したお年寄りの買い物、通院問題などの根本的な解決ではないことを見過ごしている。何年も前から当組合は、市に対し改善を求めているが何も改善していないし、二の足を踏んでいるように見えます。市民や高齢者に対する「当事者意識が無い」ように思えます (高橋)

今年4月の広報誌で市は、高齢者は免許を返納しましょうと、「また」声高に言っているが、免許返納と交換に一定額のバス券やタクシー割引券など一時的なものをあげても、免許を持っていない人の通勤や免許返納したお年寄りの買い物、通院問題などの根本的な解決ではないことを見過ごしている。何年も前から当組合は、市に対し改善を求めているが何も改善していないし、二の足を踏んでいるように見えます。市民や高齢者に対する「当事者意識が無い」ように思えます (高橋)

<行事予定>

- 5月 1日 (火) 10:00~第89回大牟田地区統一メーデー (築町公園)
- 6日 (日) 9:30~炭鋸巡り (薛邑会)
- 7日 (月) 13:00~公共・一般分会定例会
- 11日 (金) 10:00~労職分会定例会
- 13:30~メーデー総括会議
- 12日 (土) 12:00~じん肺キャラバン実行委員会・
日本大学駿河記念館 (津波古)
- 16日 (水) 支部執行委員会
- 18日 (金) 15:30~築炉じん肺弁護団会議 (平川)
- 19日 (土) 16日~19日: 日本産業衛生学会熊本 (津波古)
- 25日 (金) 13:30~九州建設アスベスト支える会 (津波古)
- 26日 (水) 県労連評議委員会
- 27日 (日) 13:00~労災職業鍼相談会・粕屋・志免サンレイクかすや (平川・津波古)
- 26日 (木) 10:30~県本部執行委員会 (県労連)
- 6月 1日 (金) 10:00~労職分会定例会
- 5日 (月) 13:00~公共・一般分会定例会
- 15日 (金) ~17日 (日) 建交労フェスタin北海道 (濱田・多田・津波古)

じん肺検診経過 (4月末時点)

- ・石綿健康管理手帳取得者…4名
- ・じん肺管理区分3イ…2名
- ・じん肺管理区分審査請求…3名
- ・じん肺管理区分3イ昭和62年取得後肺結核治療済み。病状進行を診て貰って再請求を狙う…1名 (元築炉工)